

無人航空機
による
散布も可能です。



ダントツ

アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



トゲシラホシカメムシ



オオトゲシラホシカメムシ

殺虫剤

ダントツ[®] フロアブル

ダントツは住友化学(株)の登録商標
トビイロウカ



クモヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ



ホンハリカメムシ



コバネヒョウタンナガカメムシ

セジロウカ



ツマグロヨコバイ



ヒメトビウカ

333ml入

計量
カップ付
(33ml)

6.7ℓ入もあります。



カメラ
ダントツ
防除は
で



稲のカメムシ類・ウンカ類防除に!

●有効成分：クロチアニジン…20.0%

特長

- ①優れた斑点米抑制効果
- ②優れた速効性と残効性
- ③周辺作物に対する影響が少ない

適用害虫と使用方法

2021年8月現在の登録内容(青字は2021年6月9日適用拡大)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当たり散布液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 カメムシ類	24倍	800ml	収穫 7日前 まで	3回以内	無人航空機による散布	4回以内 直播では種時 または 移植時までの処理は1回以内、 本田での散布・空中散布・ 無人航空機散布は 合計3回以内
	ツマグロヨコバイ	90倍	3ℓ			空中散布	
	ウンカ類、カメムシ類	5000倍	60~ 150ℓ			散布	
	ツマグロヨコバイ						
	イナゴ類						
イネドロオウムシ	1250倍	25ℓ	散布*				
稲	ウンカ類、カメムシ類	1250倍	25ℓ				
湛水直播 水稻	イネミスゾウムシ キリウジガガンボ	原液	種もみ 3kg当り 75ml	は種前	1回	塗沫処理	4回以内 (は種時までの処理は1回以内、 本田での散布・空中散布・ 無人航空機散布は 合計3回以内)
だいず	アブラムシ類 カメムシ類 フタスジヒメハムシ	2500~ 5000倍	100~ 300ℓ	収穫 7日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布は3回以内)
	マメシクイガ ダイスクキタマハエ	2500倍					
	アブラムシ類 カメムシ類	24倍	800ml			無人航空機による散布	
	アブラムシ類	5000倍				4回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、 植付後は3回以内)	
ばれいしょ	アブラムシ類	5000倍				4回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、 植付後は3回以内)	
さとうきび	サトウキビチビアザミウマ カンジャコバナネガカメムシ イナゴ類	2500~ 5000倍	100~ 300ℓ	収穫 30日前 まで	3回以内	散布	7回以内 (植付時までの処理は1回以内、 植付後の薬剤の処理は3回以内、 水和剤の処理は3回以内)
	カンジャワタアブラムシ	2500倍					
	メイチュウ類	24倍	2.4ℓ			無人航空機による散布	
	カンジャコバナネガカメムシ メイチュウ類	24倍					

*所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。

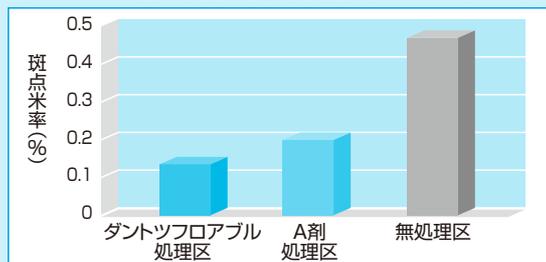
使用上の注意事項(抜粋)



- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。
- 稲に1250倍希釈で使用する場合、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 塗沫処理で使用する場合、薬剤処理後のもみに過酸化カルシウム剤を湿粉衣してください。過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 空中散布及び無人航空機散布による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
- ①各散布機種別の散布基準に従って実施してください。
- ②少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
- ③無人航空機による散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- ④散布中、薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行ってください。
- ⑤散布薬液の飛散によって自動車やカラータンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- ⑥水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
- ⑦作業終了後は次の項目を守ってください。
 - 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
 - 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

防除効果(無人ヘリコプター散布)

■カメムシ類に対する防除効果 2002年 兵庫県植物防疫協会



- 栽培品種：コシヒカリ(移植：5月4日)
- 発生状況：少発生
- 害虫種：ホンハリカメムシ、クモハリカメムシ、トゲシロホシカメムシ
- 散布方法：8月7日、ダントツフロアブル 24倍 8ℓ/ha
- 使用機種：ヤマハR-MAX
- 調査方法：9月7日に各区50株を刈り取り、精玄米20,000粒当たりの斑点米数を調査

●混用して問題のなかった事例がある薬剤(無人ヘリコプター散布)

下記薬剤と混用しても、物理性上問題がありませんでした。

アチーブMC ^{注1)}	トップジンMゾル	ビームバリダゾル	ラブサイドフロアブル
アブロードゾル	ノンプラスフロアブル	ブラシンゾル	ラブサイドモンセレンフロアブル
アミスターエイト	バンタックゾル	ブラシンバリダゾル	ロムダンエアー
カスミン液剤	バリダシンエアー	モンカットフロアブル	
カスラブサイドゾル ^{注2)}	ビームエイトゾル	モンカットラブサイド20フロアブル	
スミチオン乳剤	ビームゾル	モンセレンフロアブル	

注1) 薬液調整後は放置せず速やかに散布してください。注2) 混用順序は、水→カスラブサイドゾル→攪拌→ダントツフロアブルが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R8H21D116Z

2021年8月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト 農力 https://www.i-nouryoku.com

